

29 年度 重点取組事項 ①

車両動線の確保による、長距離ドライバーの待機・荷下ろし時間の短縮

青果大通りの混雑解消と車両動線の確保

■ 目的

- 市場内道路での積み込みや荷下ろしをせず、効率的に積み下ろし作業ができるよう、車両動線の見直しを検討していきます。

■ 平成 29 年度 青果大通り調査 (H29.8.1 AM4:30~)

[参加者]: 指定管理者、北果、大果、青果組合、大阪府

- 青果大通りに荷物が溢れ、通り抜けできない状況 (大型車両が大通りをバックにて進入)
- 青果大通り中央付近でカラーコーンとバーによる「車両通行止」の表示
- パレットが青果大通りにはみ出して置かれている状況
⇒ 写真参照 (P2~P6)

【青果大通り】

- 産地からの荷を積んだトラックがセリ場へ荷を下ろすために通行・停車する場所
- 仲卸業者がセリ場の荷を店舗まで運搬、荷捌きするためにフォークリフトやターレットで通行

■ 改善策

- 青果卸・仲卸組合と協議し、指定管理者がパレット一時保管スペースのライン引き (幅 4.1m、全長 307.5m) を 29 年 11 月末に実施し、一時保管のルールを再度周知
- 荷物のはみ出しがなくなり車両通行もスムーズになった
- 指定管理者において不要なパレットの受入・処分
⇒ 写真参照 (P2~P6)

■ 今後の取組み

- 青果大通りへのセンターラインの明示やせり台の移動等については、必要性・効果を検討し、引き続き推進連絡会議テーマ別会議にて協議
⇒ 写真参照 (P7)

<対策前>



青果大通りに荷物が溢れ、通り抜けできない状況

<対策後>



<対策前>



青果大通りを通り抜けできないため大型車両がバックにて進入

<対策後>



<対策前>



青果仲卸側黄色ライン(3パレット分)→線が擦れて境界が不鮮明

<対策後>



<対策前>



青果大通り中央付近に「車両通行止」の表示

<対策後>



<対策前>



パレットが青果大通りにはみ出して置かれている状況

<対策後>



▶今後の対策：せり台の移動等

＜果実のせり台＞



＜野菜のせり台＞

